

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

転校を経験したご家族からの経験談

- | | | | |
|------------------|------|-----|------|
| ○ 良かったこと（取り組みなど） | 7人の声 | ・・・ | 1ページ |
| ○ 失敗？したこと | 3人の声 | ・・・ | 5ページ |
| ○ その他（思い・考えなど） | 3人の声 | ・・・ | 7ページ |

第1回概要

- | | |
|------|--|
| 収集期間 | 平成28年1月17日～平成28年2月3日 |
| 収集方法 | 1) インターネット上専用投稿ページによる集約
2) 聞き取りによる上記投稿ページへの代理投稿
※無記名、複数投稿可 |

実施団体 いいたてネットワーク

飯館村「転校」経験談紹介プロジェクト

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「良かったこと（取り組みなど）」（1／4）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	良かったこと（取り組みなど）
1	幼稚園	男の子	県外	男性	<p>県外に避難した際、市役所の子供担当の窓口でいろいろ相談しました。</p> <p>避難してすぐに幼稚園に通うのもいろいろ心配ですと相談したところ、子育て支援センターを紹介されました。</p> <p>小さな子供が集まり、毎日ではないので、徐々に慣れるのには良いのではないかということです。</p> <p>そこに数回連れて行ってから、幼稚園に転園しました。新しい幼稚園にはすぐにではありませんが、徐々に慣れていきました。</p> <p>支援センターの方々からも、いろいろ町の情報を教えていただき助かりました。</p> <p>転園を焦らないで、ゆっくりと進めたことが子供にとっても良かったと思います。</p>
2	小学校	男の子	県内	男性	<p>避難している町の図書館の貸出カードを作りました。</p> <p>そして、そこで本を借りました。</p> <p>この町の子供たちがすることを、自分の子供にもさせてあげたいと思いました。その方が、多くの友達ができるのかな、というか、できて欲しいなあと思っていました・・・。</p> <p>町の図書館に行こうという時もあるので、貸出カード作って良かったかなと思っています。</p>
3	小学校	女の子	県内	男性	<p>転校先の学校と教育委員会にあいさつに行きました。</p> <p>その時、不安に思っていることや、親としての願いを正直に、そして一生懸命に話しました。</p> <p>学校や教育委員会の対応は素晴らしいかったです。とても感謝しています。</p> <p>不安や願いを、飾らず、自分の言葉で、伝えることができたことが良かったと思います。また、はじめにある程度の時間かけて話をしておくと、その後、学校や教育委員会に悩み事や聞きたいたい事など、電話しやすくなります。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「良かったこと（取り組みなど）」（2／4）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	良かったこと（取り組みなど）
4	小学校	女の子	県内	男性	<p>避難先に引っ越してきた時、隣近所のお宅に子供と一緒に伺い、避難のため引っ越ししてきたことと、子供が近くの小学校に通うのでよろしくお願ひしますとあいさつをしました。</p> <p>「子供さん元気に通っている？」と声がけしていただくこともあります。</p> <p>やっぱり一緒にあいさつに行って良かったと思います。</p> <p>子供が転校することを隣近所にきちんとお話しすることも大事なことの一つだと思います。</p>
5	小学校	女の子	県内	女性	<p>2年生まで村の学校に通い、3年生の時に転校しました。</p> <p>娘には、幼稚園からずっと一緒だった友達と離れたくないと言いました。できるだけ前向きな事を話して、無理矢理納得させました。</p> <p>転入先は生徒数が多く、転校転入も多いのもあり優しく受け入れてもらいました。</p> <p>最初の頃は、休み時間1人で本を読んだり絵を描いたりとしてましたが徐々に友達も増えました。</p> <p>友達と歩いて登下校し、放課後は一緒に宿題をやったり公園で遊んだりと、場所はちがえど震災前の村での学校生活と同じように過ごすことができています。</p> <p>村から案内がきたキャンプにはできるだけ参加しました。</p> <p>東京、神奈川、長野、山形、沖縄とたくさんのキャンプに参加して、飯館の友達と再会したくさんの思い出を作ることができました。</p> <p>転校してから、歩いて片道1キロ弱を登下校するようになったからなのか、ローレル指数も下がりました。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「良かったこと（取り組みなど）」（3／4）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	良かったこと（取り組みなど）
6	小学校	女の子	県内	女性	<p>二人の子供を転校させたのですが、途中の学年からと1年生からでは、やはり子供のストレス度合いが異なると思います。</p> <p>上の子は、途中の学年からだったので、その前までの思い出話が、クラスの子供たちとできません。それで悩んだ時期もありました。</p> <p>ですので、下の子は、1年生から転校しました。上の子に比べ、クラスの子供たちの中にスムーズに入れたような気がします。</p> <p>可能であれば、1年生から新しい学校のほうが、良いと思います。</p> <p>今回の学校を飯館村に戻すときも、小学1年生や中学1年生に入学する際に、村の学校か転校を選べるように、村での再開時期を先に延ばすべきだと思います。今の小学1年生が、中学1年生になる時に村での再開を始めれば良いと思います。</p> <p>急に、転校しろと言っても、それは、大人の都合であって、子供の立場で考えていないと思います。</p> <p>せっかく学校をいつ再開するかは、これから親や子供たちの不安などを聞いて決めることができますから、避難で疲れている子供たちに最大限のやさしさを持つべきです。</p> <p>二人の子供を転校させて感じた経験談からそう思います。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「良かったこと（取り組みなど）」（4／4）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	良かったこと（取り組みなど）
7	小学校	女の子	県内	男性	<p>長女は、転校した後、少し経ってから、地域の子どもたちが参加するサークルに入りました。3年以上続いているので、居心地が良いのかもしれません。そこには、他の学校の小学生・中学生・高校生もいて、結構、楽しんでいるようです。息抜きになっていると思います。</p> <p>子供が転校したら、同級生やチラシなどから、地域のスポーツ少年団や文科系サークルのお誘いがあると思います。どこもお試しで体験できると思うので、お子さんの興味があれば、ちょっと覗いてみるのも良いと思います。</p> <p>うちの子供も、体験したのち（1年以上続けたのですが）、辞めたサークルもあります。体験だけのサークル参加もありました。</p> <p>続く続かない、興味を持つ持たない、これは、体験してみないとわからないと思います。</p> <p>飯館村に比べ、地域の方との交流が少ない都市部では、スポ少やサークル活動で子どもたちの視線が広がると私は思います。私達夫婦も、子供のサークル活動を通して、地域の方とお話をする機会が増えました。</p> <p>徐々に、徐々に、新しい土地に馴染んでいく楽しさを感じています。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「失敗？したこと」（1／2）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	失敗？したこと
8	幼稚園	男の子	県内	男性	<p>幼稚園だからが、すぐに慣れるだろうと思って、十分に子供のことを考えず、子供と一緒に転校先の幼稚園に行きました。</p> <p>その時子供は、不安がり、転園を嫌だ嫌だと拒みました。</p> <p>先生方のご協力もたくさんあったのですが、みんなと馴染めず、幼稚園でひとりぼっちになることが多くなりました。</p> <p>数ヶ月で、飯館村の幼稚園に戻りました。</p> <p>今思うと、事前に、転園する幼稚園を見に行くとか、避難してすぐに転園させるのではなく、落ち着いてから、数か月後でも良かったのかと思います。</p> <p>子供につらい経験をさせてしまい、ごめんね。の気持ちで一杯です。</p>
9	小学校	女の子	県内	男性	<p>転校した娘から、「友だち作れ、作れっていうけど、お父さんやお母さんはどうなの？私の同級生のお父さんやお母さんに友だちいるの？」と怒られたことがあります。</p> <p>これには、すごく反省しました。</p> <p>子供が頑張っているのに、私達が積極的ではありませんでした。</p> <p>それから、子供会育成会の行事やPTA活動、地域活動などに積極的に参加するようになりました。</p> <p>スーパーでお会いして、こちらから「こんにちは。」とあいさつできる方も増えてきました。</p> <p>「避難している」と考えると一歩先に進む気持ちが弱くなるので、「この町で家族と一緒に暮らしていくんだ！」という気持ちでいた方が良いと思います。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「失敗？したこと」（2／2）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	失敗？したこと
10	中学校	女の子	県内	男性	<p>※具体的な自治体名の記載がありましたが、〇〇〇で表記させていただきました。 理由は、どの自治体でも起きうること（起きたこと）と実感して欲しいと思ったからです。 〇〇〇にご自分の自治体名を仮に入れて読んでみてください。</p> <p>小学六年生を連れて県外避難をしましたが 直ぐに中学に入らなければならず〇〇〇に相談しましたが、答えは余りにも冷たい言葉でした。 そちらに居るならば、そちらにどうぞと思わぬ冷たい言葉でした。</p> <p>頼るべき〇〇〇から捨てられたと悲しくなりました。 不安だらけの避難生活なのに町の対応力の無さに呆れました。</p> <p>結果子供は、不登校になりひきこもりになりました。 誰も責任を取れませんよね…</p> <p>今、飯館村は避難区域に無理矢理子供を連れて行こうとしてますが。 明らかに間違っています…</p> <p>心を許せる友人と引き離しては駄目です。 私の経験からそう思います。</p> <p>繋がりが大切なんです。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「その他（思い・考えなど）」（1／2）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	その他（思い・考えなど）
11	小学校	男の子	県内	女性	<p>避難して、良かったこと、悪かったこと、悲しかったこと、辛かったこと、たくさんあります。その中でも、辛かったこと、子供に絶対飯館に帰るから一時避難だからと言っていやがる子供を説得させて、転校させたけど、ずっと、いつ帰れるの？帰れるっていったじゃない！と、言われつづけあげくに、うそつきまで言われました。</p> <p>親として子供にうそつきよばわれされてしまい、信用はそこで切れたような感じがしました。子供だから、親の背中を見て育つと思うので、きっと、子供達も大きくなったら、ウソつくんだろうな！</p> <p>そんな、気持ちでしかたがないです。</p>
12	小学校	女の子	県内	男性	<p>「突然の転校」「納得できない転校」「卒業まで一緒にいたかったのにできなかったと思ひながらの転校」は、子供たちを不登校にする可能性があると思います。 村役場や教育委員会は、責任を取れるのでしょうか。</p> <p>それは、 子供の問題だから・・・、 転校せずに、村の学校に通えばよかったのに・・・なんて責任逃れするのでしょうか。</p> <p>自分の子供は、何度も学校に行きたくないと話していた時期がありました。 それを乗り越えて、今は、元気に通っています。 でも、その時、学校に行くことができなかつたら・・・、不登校になっていたと思います。 中学1年生が、3年生の時に村の学校に行くか、転校するかと聞きます。 保護者の要望に反して、強引に村での学校再開を行うのであれば、村役場と教育委員会は転校する子への対応策も一緒に示すべきです。 責任逃れだけはないように、きちんと見ていく。</p>

第1回 飯館村「転校」経験談紹介レポート

第1回収集期間：平成28年1月17日～平成28年2月3日

「その他（思い・考えなど）」（2／2）

No.	学年	子供の性別	転校先県内外	投稿者性別	その他（思い・考えなど）
13	中学校	女の子	県外	女性	<p>※具体的な自治体名の記載がありましたが、〇〇〇で表記させていただきました。理由は、どの自治体でも起きうること（起きたこと）と実感して欲しいと思ったからです。〇〇〇にご自分の自治体名を仮に入れて読んでみてください。</p> <p>〇〇〇から埼玉県に避難しています。 2011年3月11日当時は中二でした。震災直後であり、県外であることから今回の飯館村の学生の皆さんにとっての参考になるかわかりませんが、娘が落とした涙と同じ思いをする方が減ることを祈っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイト以外の知らない子から、いつまで避難者面するんだ?と言われた。・・・賠償の心無い報道からの出来事 ・修学旅行に行けずに終わった・・・こちらは中2で行く学校で、〇〇〇では4月に行く予定になっていたので、結局いけないまま。3年間最大のお楽しみがなくなってしまいました。・・・バラバラになるということは思い出作りもバラバラ ・避難生活の苦労も苦惱も知らない担任にいじわるをされたり、きずつけられたり。・・・特別扱いはできないということらしいですが、守ってくれる、わかってくれる大人がいない環境はつらいです。 ・事業者テストなどはまだよいが、学内テスト対策をずっとしている子と突然対応しなくてはいけない子ではハンディがある ・中学生活は3年間のカリキュラムで構成してあり、学校によって進度が違ったり、教科書が違うと、やり残したり、重複したりするということが起きた。・・・県内一律の教科書ではないと思う。 ・娘たちは、今、来年成人式を迎えるにあたって、どこで誰と成人式を迎えたらいいのか悩んでいます。 ・〇〇〇の財産を失い、ふるさとを嫌いになってしまふ。悲しいです。 ・一緒に卒業できることは、一緒に泣いたり笑ったりしてきたことも中途半端になります。 <p>親も子も中学までは一緒に他人の子の成長も見て、初めて、義務教育の9年間を地域の方と共に過ごしたことを誇りに思えるのだなあと、たった1年しかいなかった学校の卒業式は、親子共々、うれしくもない、写真もいらない、そんな一日でした。 被曝の不安を抱えながら生きるということは、何か些細な病気になった時でも、親も子も無理したことを後悔します。 人がこれ以上子供達を分断させることがないようにしてあげてください。</p>